

Tips: 学生プレゼンテーションの活用 (3)

Copyright © EMIT Japan Corporation

概要

デザイナーが学生プレゼンテーションツールをコースに追加して、グループを作成すると、学生は自分が所属しているグループのファイル編集を行うことができます。学生はデザイナーが説明文で指示した方法で、作品の作成・提出を行います。

学生プレゼンテーションの活用(3)は学生プレゼンテーションの利用方法と、学生として作成した作品をプレゼンテーションにアップロードする方法について説明します。

このTips は以下の内容を含んでいます。

目次ページの作成

学生ページの作成

作成したファイルのアップロード

目次ページの作成

学生は作成したファイルをWebCTにアップロードする前に、まず目次ページを作成しなければなりません。

目次ページの作成は学生またはデザイナーが作成することができます。デザイナー側で予め目次のページを用意しておけば、学生は完成した作品を簡単にアップロードして公開することができます。

以下はデザイナーがファイルを作成する場合の手順です。ファイルは学生も作成できますので、デザイナーは必要に応じて作成方法を学生に提示してください。

デザイナーで目次ページを作成する

1. ホームページにある「プレゼンテーション」をクリックします。するとプレゼンテーション画面が表示されます。
2. メニューバーにある「編集」をクリックします。するとプレゼンテーション編集画面が表示されます。
3. グループ一覧のカラムが画面の下にあります。目次のページを追加するグループのリンクをクリ

ックします。するとグループ編集画面が表示されます。

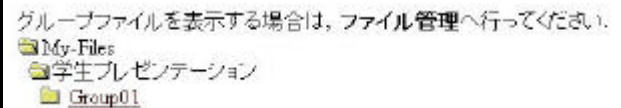


図1 グループ編集の下にある学生フォルダ

4. 画面下にグループファイルのフォルダがリンクとして表示されます。フォルダのリンクをクリックします。するとファイル管理画面が表示されます。
5. ファイルオプションの下で「新規ファイルの作成」を選択して、Goをクリックします。するとファイルの作成画面が表示されます。



図2 ファイルの作成画面

6. ファイル名に「index.html」を入力します。
7. 保存フォルダは「student_pres/Group01」を選択します。
8. ここで用意した index.html ファイルの内容はデザイナーが学生のページを指定して、学生を一人ずつ1つのプレゼンテーションファイルを作成し、それぞれ公開するという設定です。

```
<title>日本の米の種類</title>
Group01のプロジェクトの目次画面<p>
各学生のプロジェクトは、下のリンクをクリックしてください。<p>
<a href="chou001.html">エミット太郎</a><br>
<a href="chou002.html">エミット次郎</a><br>
```

➤ <title></title> : タグの間にグループプレゼンテーションのテーマ等を入力します。ここで入力したものは学生プレゼンテーションの説明文カラムに表示されます。

- ▶ <p> : このタグで囲んだ範囲は独立した文章として認識され、前後に 1 行の空白行ができます。
-
 : テキストの任意の場所に< br>を入れることで強制改行されます。
- ▶ : リンクを貼るときに使用します。">"間に学生が作成した作品のファイル名を入力します。">"との間に学生の名前を入力します。

9. 最後に保存をクリックします。すると**ファイル管理**画面が表示されます。

10. 作成したファイルが指定したグループのフォルダに保存されます。ファイルのリンクをクリックすると、ファイルの表示画面が表示され、作成したファイルの内容を確認することができます。



図 3 ファイルの表示画面

これで目次ページの作成ができました。さらに他のグループの目次ページを作成する場合は手順の「5」～「10」を繰り返して作成してください。

学生で目次ページを作成する

1. 学生モードで学生プレゼンテーションツールをクリックします。すると学生プレゼンテーション画面が表示されます。
2. 所属するグループの横に「**ファイルの編集**」リンクが表示されます。そのリンクをクリックします。すると**ファイル管理**画面が表示されます。



学生のファイル管理で使う機能はデザイナーと同じなので、目次ページの作成をデザイナーの手順「5」～「10」を参照してください。

学生ページの作成

例の目次ページで学生ページのリンクを作成しました。次に学生のページを作成します。デザイナー側で学生ペー

ジを用意すると、学生はこのページを利用して、自分のプレゼンテーションを編集することができます。この手順はパソコンに不慣れな学生には、プレゼンテーションを作成する方法がよく理解できないかもしれません。そのような場合、デザイナーが目次ページをあらかじめ学生プレゼンテーションに用意すると、学生は簡単にプレゼンテーションを作成することができます。学生がすでにファイルを作成している場合は、次の「作成したファイルのアップロード」を参照してください。

1. **ファイル管理**画面でファイルオプションの下で「**新規ファイルの作成**」を選択して、**Go**をクリックします。すると**ファイルの作成**画面が表示されます。
2. ファイル名「<Group01 のメンバ ID>.html」を入力します。例としては「chou001.html」を入力します。
3. 保存するフォルダは「student_pres/Group01」を選択します。
4. ここで用意する内容は学生のページに学生の名前を上部に追加して、編集の誘導コメントを加え、ページの最後に目次ページに戻るリンクを付けました。

```
<h1>エミット太郎</h1>
ここにプレゼンテーションの内容を書きます。 <br>
<a href="index.html">目次ページ</a>
```

- ▶ <h1></h1> : 見出し文字。例ではタグの間に学生の名前を入れましたが、必要に応じて、プレゼンテーションのテーマ等を入力します。
 - ▶ 範例ではページの最後に目次ページに戻るリンクを付けましたが、必要に応じて、他の学生のページへのリンクを付けることができます。
5. 最後に保存をクリックします。すると**ファイル管理**画面が表示されます。
 6. 作成したファイルが指定したグループフォルダに保存されます。ファイルのリンクをクリックすると、ファイルの表示画面が表示され、「**目次ページ**」をクリックして、目次ページ画面が表示されることを確認します。

ファイルの表示: **chou001.html**
[ファイル管理](#)に戻る

エミット太郎

ここにプレゼンテーションの内容を書きます。
[目次ページ](#)

これで学生ページの作成ができました。さらに他の学生ページを作成する場合、手順「1」～「5」を繰り返して作成してください。

作成したファイルのアップロード

先に説明した「学生ページの作成」は、デザイナー側で用意したページに学生がプレゼンテーションを編集するという方法ですが、ここでは学生が自分でプレゼンテーションファイル等を作成した場合、そのファイルをアップロードする手順について説明します。学生は作成したプレゼンテーションのファイルを「ファイル編集」を利用して、アップロードしプレゼンテーションを完成させます。

➤ 手順

1. 学生モードで、学生プレゼンテーション画面で所属するグループカラムの「ファイルの編集」をクリックします。すると**ファイル管理**画面が表示されます。



図 4 学生モードのファイル管理画面

➤ 単一のファイルをアップロード

1. ファイルオプションの下で「ファイルをアップロード」を選択して、Go をクリックします。すると**アップロード**画面が表示されます。
2. **参照**をクリックして、作成したファイルを指定し、**アップロード**をクリックします。すると**ファイル管理**画面が表示されます。アップロードしたファイルはグループフォルダの下に表示されます。

➤ 複数のファイルをアップロード

複数のファイルを一遍にアップロードする場合は、予めファイルを圧縮します。圧縮したファイルを zip 形式で保存します。

1. ファイルオプションの下で「ファイルをアップロード」を選択して、Go をクリックします。すると**アップロード**画面が表示されます。
2. **参照**をクリックして、圧縮した zip ファイルを指定して、**アップロード**をクリックします。すると**ファイル管理**画面が表示されます。アップロードした zip ファイルはグループフォルダの下に表示されます。
3. ファイルの右にあるチェックボックスにチェックを入れ、ファイルオプションの下のドロップダウンリストから「Unzip」を選択して、Go をクリックします。するとUnzip 画面が表示されます。
4. **Unzip**をクリックします。するとUnzip されたフ

ァイルがグループフォルダの下に表示されます。

2. 「目次ページ」にアップロードしたファイルのリンクを作成します。作成方法は「目次ページの作成」に参照してください。

➤ 補足

ここでアップロードしたファイルの文字変換を行いません。学生のファイル管理で使える機能はデザイナーと同じですので、その他の機能に関しては『ファイル管理』を参照してください。

このティップスは以下の環境で確認しました。

サーバ : WebCT3.8 日本語版 / RedhatLinux 7.3

クライアント OS : Windows2000

クライアントブラウザ : IE6.0SP1

(2003年10月31日 周孟青作成)